

'17.9

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行人 兵庫県商工会連合会
代表者 志智宣夫
発行人住所 神戸市中央区花隈町6番19号
☎078(371)1261(代) ☎650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 足立 誠
印刷所 有限会社 浜田デザイン写植
会員の購読料は会費に含んでおります

第721号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成29年度 スローガン

商工会は行きます 聞きます 提案します



▲おばあかふえの前にて常務の久村氏(中央)と「おばあ」達

Contents

■県連合会Letter 2～3頁

- ・県青連 主張発表大会及び幹部講習会
- ・金融審査委員等講習会
- ・労務管理研修会
- ・第1回商工会管理者研修会
- ・共済担当者研修会

■あなたのまちの元気な企業(新温泉町) 4頁

■J-GoodTech 5頁

■業務改善助成金・奨学金返済支援制度 6頁

「ゆむら屋 おばあかふえ」は湯村温泉商店街の中に位置する古民家カフェである。今から約8年前に商工会が持っていた古家を改築し、カフェとして営業を始めた。スタッフとして定年退職した女性が勤務しているのだが、年配のため、複雑な計算が出来ず、つり銭の計算をお客さんにしてもらったり、忙しいときは店をお客さんが手伝うなど他のカフェとは一風違った接客スタイルを貫いているが、クレームが出たことはなく、むしろ喜ばれているという。

(詳細は4頁)

但馬地域の文化を広めるために

ゆむら屋 おばあかふえ

(新温泉町)

県青連

最優秀賞に石田雅也さん(香美町)

近畿大会へ

第23回主張発表大会及び第2回幹部講習会

県商工会青年部連合会(中西孝之会長)は、7月8日、新温泉町・夢ホールにおいて、第23回主張発表大会及び第2回幹部講習会を開催し、県内各青年部幹部等約200人が参加した。

主張発表大会は、青年部活動や青年部員としての活動を発表し、相互に研鑽することにより、地域のリーダーとしての意識の高揚をはじめ、若手経営者・後継者としての資質の向上を図り、ひいては地域活性化に資することを目的に実施しており、県内7地区の代表がそれぞれ「青年部活動や地域振興・まちづくり」をテーマに熱弁を振るった。

最優秀賞には、「青年部活動に参加して子どもたちへ未来へ」をテーマに発表した但馬地区代表(香美町商工会青年部)の石田雅也さんが受賞。9月5日に京都府で開催される近畿ブロック大会の兵庫県代表として出場する。優秀賞には、阪神地区代表(川西市商工会青年部)の東大悟さんが受賞。

《発表者》

- 【丹波篠山】阪本 勝(篠山市)
【淡路】山田 義徳(五色町)
【東・北播磨】山本 洋介(加東市)
【西播磨】衣川 幸文(宍粟市)
【阪神】東 大悟(川西市)
【中播磨】森本 敬司(神河町)
【但馬】石田 雅也(香美町)

(発表順・敬称略)



▲最優秀賞に輝いた但馬地区代表の石田さん(香美町)

一方、幹部講習会では、株式会社オシスマップ代表取締役会長の大林賢一氏が「ソーシャルビジネスで地域に力をいれよう未来のために、ホット・もった・青年部活動」をテーマに講演を行った。青年部OBでもある大林氏が実施する取り組みや事業における想い等に参加者は終始真

剣な表情で聞き入り、講演後には多くの質問が投げかけられた。また、同会場内では、ビジネス商談の場の活用を目的に「ひょうご商人ネットワーク商談会」を開催し、5社が出展した。各社メイン事業や新サービス等をPRすべく、パワーポイントや動画などを使用しプレゼンテーションを行った。



▲県内青年部員に対してプレゼンを行う商談会出展者

最優秀賞には、ティーダデザイン(加東市)が受賞し、賞状が中西会長から授与された。

《出展者》

- 【丹波市】かどの整骨院
【加東市】ティーダデザイン
【佐用町】ブルーベル株式会社
【三田市】Le panda
【香美町】中島石材店

(発表順)

政策公庫6支店の協力を得て
金融審査委員等講習会を開催

県連合会は、7月19日・20日の2日間、たつの市・国民宿舎「志んぐ荘」において、金融審査委員等講習会を開催した。本講習会は、中小企業・小規模事業者等にとって経営に大きく影響する金融支援の中核である、「小規模事業者経営改善資金融資制度」に対して、商工会における金融審査能力の向上と指導体制を整備することを目的に開催。

講習1日目は、県連合会の志智会長が開会挨拶。来賓には西播磨県民局長の東元良宏氏、たつの市長の栗原一氏をお迎えし、それぞれ挨拶があった。そして、研修1では、関西学院大学大学院教授の佐竹隆幸氏が「地域創生に向けた商工会の役割」をテーマに講演を行った。研修2では、日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業統轄の山田広氏より、「日本政策金融公庫の取組み内容」について、研修3では、「日本政策金融公庫各支店管内の状況等」について、県内6人の日本政策金融公庫事業統轄より説明があった。

また、講習会2日目には、研修4として、県連合会・津田弘一チーフアドバイザーから「地域金融機関との連携」について、研修5では、兵庫県信用保証協会経営支援室創業・経営支援課長・中元健太郎氏から「信用保証協会の現状と各種保証制度」について説明を聞いた。



▲各支店管内の状況を説明する事業統轄

共済担当者研修会を 開催

県連合会は、7月3日、4日、5日にかけてそれぞれ兵庫県中央労働センター、福岡町商工会館、朝来市商工会朝来支所を会場に、共済担当者研修会を開催し、3日間で45人が出席した。

まず、「共済とリスクマネジメントについて」をテーマに、商工会が共済や保険を取り扱う意義等について受講し、続いて全国連合会サービス課・古森氏から「全国商工会員福祉共済について」の説明があった。

次に、全日本火災共済協同組合連合会・高田企画部長から「休業対応応援共済について」をテーマに説明があり、続いて兵庫県共済協同組合・阿佐美代理店事業課長から「総合賠償償制度について」を学んだ。また、(独)中小企業基盤整備機構近畿本部共済普及課の吉谷課長他アドバイザー2名から「事業承継円滑化に係る小規模企業共済法一部改正について」「経営セーフティ共済制度について」研修を受けた。参加者からは、「共済の基本を研修できた」「事例を交えた解説が分かりやすかった」などの感想があった。

リスクマネジメントについて考える

第1回 商工会管理者研修会

県連合会は、7月11～12日、加東市「ホテルグリーンプラザ東条湖」において、平成29年度第1回商工会管理者研修会(事務局連絡会議)を開催し、県内商工会の事務局長等28人が参加した。

研修会に先立ち、兵庫県、全国健康保険協会兵庫支部、中小企業基盤整備機構近畿本部、中小企業大学校関西校から、事業等への協力依頼があった。

研修会では今年度新たに就任した事務局長が多いことから、FPMの山下奈央氏を講師に迎え、リスクマネジメントについて学んだ。山下氏は「風通しのよい職場をつくるのがリスクの発生を抑えることにもつながる」と述べた。

2日目は、同市「藤井電工株式会社」で視察研修を行い、安心・安全な製品づくりには5Sが必要不可欠であり、商工会でも取組める内容であると再認識する場となった。

職員研修 労務管理「入門編」

～労務管理研修会～

県連合会は、7月24日に兵庫県中央労働センター、31日に中小企業大学校関西校で「労務管理研修会」を開催した。

本研修会は、商工会における基本相談である就業規則・社会保険・労働保険の基礎を学び、事業所支援に役立てることを目的とし、両日計71人が参加した。

特定社会保険労務士・行政書士であり、県連合会副主任チーフアドバイザーの安藤都昭氏を講師に迎え、就業規則の策定指導や社会保険・労働保険の基礎知識について学んだ。また、兵庫労働局雇用・環境均等部および職業安定部から労働関係助成金の概要について説明があった。

参加者からは、「事業所支援に役立つ内容であった」「職員間で情報共有し、業務に活かしていきたい」などの感想があった。



▲熱心に話を聞く職員ら



ジブラルタ生命は、
お客さま一人ひとりを大切に
心に届くサービスをご提供いたします。

“As safe as the Rock”
～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています



確実にやるのは
どこでもできる。
確実に速くやるからこそ
「価値」になる。

 **三井住友銀行**
LEAD THE VALUE
三井住友フィナンシャルグループ

9月のこよみ

- 1日(金) 第2回正副会長会
- 5日(火) 第1回人事管理委員会
- 5日(火)～6日(水)
近畿ブロック商工会青年部交流研修会・主張発表大会
- 7日(木)～8日(金)
近畿ブロック商工会女性部交流研修会・主張発表大会
国際フロンティア産業メッセ2017
- 8日(金) 第2回理事会
- 20日(水)～21日(木)
第2回チーフコーディネーター研修連絡会
- 20日(水)・27日(水) 創業支援研修会
- 22日(金) 県青連理事会
消費税軽減税率制度実施協議会
- 25日(月) 経営発達支援計画・伴走型小規模事業者支援
推進事業説明会
- 29日(金) 第2回経営サポート力向上研修会

10月のこよみ

- 3日(火) 県信用保証協会創業フェア
- 6日(金) フォローアップ研修会
- 19日(木) 経営分析力向上研修会
- 19日(木)～20日(金)
商工会女性部連合会全国大会(岐阜大会)
- 24日(火)～25日(水) 近青連交流会及びリーダー研修会
- 26日(木)～27日(金) 商工会幹部研修会

あなたのまちの元氣な企業

唯一無二のサービスで人気店に

ゆむら屋 おばあかふえ (新温泉町)

出来ない事を

魅力に変える

「第3回ひょうごいいね!お店表彰」で地域連携部門の大賞を受賞した「ゆむら屋 おばあかふえ」。

同賞は、兵庫県が魅力と個性あふれる優秀店を表彰するもので、こだわりのあるサービスや地域の課題に積極的に取り組む地域密着型の店舗に贈られる。

情緒溢れる湯村温泉商店街の一角に位置する「おばあかふえ」は地域特産品をPRするために約8年前から始まった。その経営方法は独特で、従業員には定年退職した女性を再雇用し運営を行っている。



▲「おばあかふえ」で働く「おばあ」達

「かふえ」には現在10人が在籍しており、平均年齢は69歳だという。しかしそれぞれに個性豊かな「おばあ」の統制をとるのは難しい。

「全てを完璧にこなすことは不可能ですし、出来ないことをどうこう言っても仕方が無いです。それよりそれぞれの欠点を活かす方向で、マイナスをプラスにすることがそれぞれのモチベーションを上げることになると思いますが、お客様からも珍しさが喜ばれています。こう語るのは、経営母体である「株式会社 但馬寿」の常務取締役久村謙藏氏である。また、久村氏は個性豊かな「おばあ」の行動を色紙に書き注意喚起として店内に張っていたところ、これを見たお客さんが大変



▲一発書きで「おばあ」のイラストを描く久村常務

気に入る「おばあ語録色紙」や「おばあのかくれんぼ(カレンダー)」として商品化もされている。このように一見不利に見えること

でも店の魅力に変えていくことで存在価値を高めているのである。

地域文化を

絶やさないように

「おばあかふえ」を設立したもう一つの要因として、消えつつある地域文化を伝承したいという思いがあった。但馬地域に伝

わる栃の実を使った栃もちの伝統製法である栃の灰汁抜きは、良質な木灰を用いて行うのだが、現在では木灰が取れにくくなっており、また栃の実を取る人も減ってきた。

「栃もちはもともと会長がとても好きで、好きが高じて現在の会社を創業したほどなのです。ですからこの栃もちの製法をな

んとしても次世代へ伝承していかなければと考えております」と久村氏は語る。この複雑な栃

の実の灰汁抜きは創業者の妹から伝承され、今は3代目としておばあに引き継がれ、さらに地域で開かれるイベントなどを通して若い世代に伝承する活動を行っている。

また、当店で販売している和

菓子には但馬地域の特産品でもある美方大納言小豆が使用されており、地域の特産品のアピールにも繋がっている。

「田舎ビジネスなので正直言って売上は伸び悩んでいます。しかし店舗の売上増を図ることよりも、いかに店のことや但馬地域のことをPRできるかという方が重要であると考えています」と久村氏は語る。

但馬地域の伝播を 目指して

「おばあかふえ」はイベントでも大人気だという。



▲店内には「おばあ」達の作品も並ぶ

「但馬地域の保育園を回ったり、老人ホームでイベントを開催したり、お祭りに呼ばれたり…。地域みなさんが親しみやすいような歌を私が作詞し、作曲と歌を社員である勝地哲平氏が『遊月亭いく蔵』の名前で発表して

おり、それをCDにして配ったり、他に映画を自主制作して小学校などに無料で配布をしています。但馬地域のPRに繋がることであれば出来る限り頑張りたいです。喜ばれることは積極的に行いたいですね」と久村氏は語る。話題性を集めるために作ったファンクラブはメディアに取り上げられた効果もあり、発足から1年で会員が約800人に増えた。

全国に おばあかふえを!

過去に「おばあかふえ」に來た人が大変気に入り、山梨に同タイプのカフェをオープンしたという。「将来的には全国に系列店を作り、さらにその土地の文化を次世代に継承できるような仕組み作りが出来れば良いと考えています」と久村氏。『喜びを作り、喜びを提供する』という経営理念そのものを体現するように今日もおばあかふえは地域振興のために邁進する。

【企業概要】

社名/遊月亭
(株)但馬寿
代表者/久村 謙藏
創業/平成21年10月
住所/兵庫県美方郡
新温泉町細田
40-1
☎0796-85-8010

J-GoodTech

ジェグテック

中小企業と世界をつなぐ B to B ビジネスマッチングサイト

J-GoodTech (ジェグテック) は、優れた技術・製品・サービス等を有する日本の中小企業が掲載されているビジネスマッチングサイトです。独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しており、大手メーカーや海外企業とのニーズ/シーズのマッチングをサポートします。登録掲載企業は、自社製品や技術情報のプロモーション、ニーズに合わせた企業情報の検索だけでなく、登録中小企業と直接の情報交換や技術提案が出来ます。登録・利用は無料です。



J-GoodTech 活用のメリット

- その1 営業コストをかけずに自社情報を世界へ発信できる！
- その2 事業を拡大していくための新しい取引先を発掘できる！
- その3 新しい事業を一緒に始める仲間を探せる！

まずは

ジェグテック近畿

検索

登録企業募集中

経営者と従業員のための全国商工会休業補償制度

商工会の休業補償プラン

所得保障保険団体契約（天災危険担保特約付）

【特徴】

- ① 一般保険料に比べ割安（団体割引）
- ② 最長1年間のロングサポート（免責7日間）
- ③ 自宅療養中もサポート（医師の治療を受けていることにより全く働けない場合）
- ④ 24時間いつでもサポート
- ⑤ 加入時の医師の診査は不要
- ⑥ 家事従事者の方も対象に（入院時のみ補償）
- ⑦ 地震、噴火またはこれらによる津波によるケガもサポート

【保険期間】

平成29年10月1日から1年間

【加入資格】

- * 全国商工会の会員事業所の事業主（法人の場合は役員）、従業員の方。
- * 上記事業主、従業員の配偶者である専業主婦（家事従事者）の方。
- * 加入年齢については、各商工会へお問い合わせください。

【引受保険会社】

東京海上日動火災保険株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

～お問い合わせは各商工会まで～

緑の募金にご協力をお願いします

緑の募金は地域の緑化活動への助成やボランティア団体への助成を行っています。ご協力いただく募金は、金額の多少を問わず次の金融機関へ振込をお願いします。

●郵便振込（手数料無料）

郵便の場合、公益社団法人兵庫県緑化推進協会に直接お問い合わせ下さい。専用の払込取扱票用紙をお送り致します。

●銀行振込（振込手数料必要）

口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所 普通 3198438
名義：公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

◆お問い合わせは◆ (公社)兵庫県緑化推進協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-18 県林業会館内
TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071 URL: <http://www.hyogo-green.net/>



一ひょうごの中小企業を補償でサポート！ 商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする



ひょうご共済
兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28
兵庫県中央労働センター4階
☎078-361-8080 www.ken-kyosai.or.jp

個人住民税の納税について

個人住民税は、県民税と市町民税をあわせて市町が課税し、徴収する税です。給与所得者と65歳以上の年金受給者は、給与や年金から特別徴収され、それ以外の方は、市町から送付される納税通知書により、原則として年4回に分けて納めていただきます。

東日本大震災の教訓を踏まえた防災施策の実施に伴い、平成26年度から平成35年度までの個人住民税の均等割の税率が年額1,000円（県民税500円、市町民税500円）引き上げられています。

給与所得者等以外の方の第3期分の納期限は **10月31日(火)**（市町により納期限が異なる場合があります。）ですので、最寄りの銀行などの金融機関でお納めください。

※お問い合わせはお住まいの市（区）役所、町役場まで

業務改善助成金・奨学金返済支援制度を活用しましょう！

業務改善助成金は、厚生労働省の助成制度で、中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援し、事業場内でも最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引上げを図るための制度です。奨学金返済支援制度は中小企業の人材確保や若年者の県内就職・定着を図るため、従業員の奨学金返済負担軽減制度を有する県内中小企業に対して、その負担額の一部を補助しています。

業務改善助成金は、「ニッポン一億総活躍プラン」「経済財政運営と改革の基本方針2016」及び「日本再興戦略2016」（いずれも平成28年6月2日閣議決定）に記載されている。最低賃金の引上げに向けた中小企業・小規模事業者の生産性向上等のための支援の一環として実施しています。

「業務改善助成金」とは？（概要）

生産性向上のための設備投資などにかかる費用の一部を助成します。

中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援し、事業場内でも最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引上げを図るための制度です。生産性向上のための設備投資などを行い、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、その設備投資などにかかった費用の一部を助成します。

「誰がもらえる？（支給対象者）」

事業場内最低賃金が1,000円未満の中小企業・小規模事業者が対象となります。

業種	①受給金の額又は出資の総額	②平時使用する企業全体の労働者数
一般産業（70業種）	3億円以下の法人 300人以下	100人以下
卸売業	1億円以下の法人 100人以下	100人以下
サービス業	5,000万円以下の法人 100人以下	100人以下
小売業	5,000万円以下の法人 50人以下	50人以下

「どうしたらもらえる？（主な支給要件）」

- 事業改善計画を策定すること
- ①賃金引上げ計画
事業場内最低賃金を一定額以上引き上げる計画。
（就業規則等に規定）
- ②事業改善計画
生産性向上のための設備投資などの計画。
- 経費、賃金引上げ等の不交付事由がないことなど

事例1 POSレジシステムの導入による売上分析の向上

所在地 福岡県 従業員数 10～19人 事業の種類 食料品小売業

取組商品は300種類以上ありますが、その販売管理はこれまで紙ベースで行っていたため、顧客の購買動向をつかむことが困難でした。そこで、販売実績から売れ筋商品の動向を分析するために、助成金を活用してPOSレジシステムを導入しました。

導入効果

- 蓄積したデータから従業員からのアイデアなど、様々な情報を活用して商品の開発を推進する
- 生産性向上による最低賃金の引上げ
- 今後にはデータに基づく従業員の商品開発を行うことで、売上げ増大を図る

早く正確な受注で売上が5%アップ!

POSレジシステム導入により、データの把握や管理をより早く正確に行い、商品開発という今後の活動にシフトした。

事例2 注入機材の改良による生産量の大増アップ

所在地 岡山県 従業員数 10～19人 事業の種類 化粧品卸売業

化粧品サンプルの製造を行っています。作業工程の中には手作業によるものも多くあり、商品に対する需要が増える中、作業をより早く正確かつ安全に行うために、助成金を活用して注入機材を改良しました。

導入効果

- 機械化によって生産量が大幅にアップしたことにより、作業ラインを最適化した
- 生産性向上による最低賃金の引上げ
- 従業員の向上もあつたため、全従業員のモチベーションを高める

1日の生産量が12倍!

手作業を機械化することで生産量が大幅に増大し、売上が拡大した。

事例3 顧客・在庫・帳票管理システムの導入による業務効率化

所在地 山形県 従業員数 1～4人 事業の種類 中古車販売・整備業

顧客管理や在庫管理を表計算ソフトで行っていたが、複雑な販売・経営管理に対応できず、入力ミスや漏れも発生していました。そこで、助成金を活用して顧客管理・在庫管理・帳票作成などを一元的に行うことができるシステムを導入しました。

導入効果

- 事務処理の時間短縮ができたこと
- 販売や顧客フォローに注力することが可能となり顧客満足度が上昇
- 顧客情報把握、利益計算、見積書作成の段階によって作業時間が10%短縮!
- 作業時間の削減によって生産性が向上し、1人の従業員の月給（最低賃金）を60円引き上げた

システムを導入することでデータの把握や管理をより早く正確に行い、収益確保のための販売活動に注力できる体制を構築した。

事例4 専門家の業務フロー見直しによる顧客回転率の向上

所在地 滋賀県 従業員数 5～9人 事業の種類 飲食業

接客の業務フロー（オペレーションマニュアル）がないために接客の質の均一化ができておらず、質の高い接客が維持できていませんでした。また、店長が新人従業員に業務の長期化を促していました。そこで、助成金を活用して専門家に業務フローの見直しを依頼して実施しました。

導入効果

- マニュアル化によって接客の質が向上し、2人の従業員の月給（最低賃金）を40円引き上げた。さらに、収益性が向上し、正社員の昇給を実現した
- 業務効率の改善によって生産性が向上し、2人の従業員の月給（最低賃金）を40円引き上げた。さらに、収益性が向上し、正社員の昇給を実現した

マニュアル化によって接客の質が向上し、注文から提供までの時間が10%短縮!

専門家のコンサルティングを受けることで、すべての従業員が一定水準以上の接客を行うことが可能となった。

中小企業就業者確保支援事業（中小企業奨学金返済支援制度）

若手社員の奨学金返済支援を行う中小企業に助成します

兵庫県、神戸市、姫路市、尼崎市及び西宮市では、中小企業の人材確保や若年者の県内就職・定着を図るため、若手社員の奨学金返済を支援する中小企業への補助を行っています。若手人材の確保や定着に、ぜひご活用ください。

従業員の奨学金返済負担軽減制度を設けている中小企業に対して、その負担額の一部を補助します。

補助対象

- ①本社が県内にある中小企業
- ②以下の対象従業員に対する奨学金返済負担軽減制度を有していること

「中小企業とは」 中小企業法に定める中小企業者とする。ただし、みなし大企業、土業法人等を除く。詳しくは、要綱、手引きをご確認ください。

「対象従業員」 対象企業に勤務し、以下の①～⑤の要件を全て満たす者

- ①正社員である者
- ②日本学生支援機構の奨学金を受給し、返済義務のある者
- ③申請時点で、当該企業就職後3年以内の者
- ④申請時点で、県内の事業所に勤務する者
- ⑤30歳未満の者（申請年度末時点で29歳以下の者）

補助期間 対象従業員1人につき、最大3ヵ年（就職3年目の者であれば、最長1ヵ年）

補助金額 ①対象従業員1人あたりの年間返済額を補助対象額とし、その3分の1を補助
②補助上限6万円（ただし、企業が対象従業員に支給した額の2分の1の額が6万円を下回る場合は、その額。）

申請先 （一財）兵庫県雇用開発協会

申請方法 （一財）兵庫県雇用開発協会ホームページから、申請書類をダウンロードし、添付資料を添えて、下記申請先まで持参、郵送（特定記録郵便に限る。）にてご提出ください。

補助申請先・問い合わせ先

（一財）兵庫県雇用開発協会
〒650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1 東成ビル3階
電話 078 (362) 6583 FAX 078 (362) 6613
ホームページ <http://hyogo-koyokaihatsu.or.jp/>

どんな制度をつくらしたら、どのくらい補助されるの？

従業員に対する支援額や支給方法（毎月払い、ボーナス一括払い等）は、企業において自由に設定してください。
対象従業員の年間返済額や、企業からの対象従業員への支給額に応じて、補助を行います。

①対象従業員1人あたりの年間返済額を補助対象額とし、その3分の1を補助
②補助上限6万円（ただし、企業が対象従業員に支給した額の2分の1の額が6万円を下回る場合は、その額。）

＜例：従業員の年間返済額が18万円、企業の年間支給額が12万円の場合＞

企業負担分	本人負担分
6万円	6万円
6万円	6万円
6万円	6万円

県、政令・中核市が補助

＜従業員の年間返済額と企業支給額に応じた補助金額の例＞

	従業員の年間返済額	企業の支援総額	県、政令・中核市の補助額
ケース1	18万円	10万円	5万円
ケース2	20万円	15万円	6万円
ケース3	20万円	10万円	5万円
ケース4	12万円	10万円	4万円
ケース5	12万円	6万円	3万円

補助を受けるためには、社内制度を設けていただくことが必要です。
個別規程を作成する、就業規則に盛り込む、福利厚生制度として運用する など様々な方法があります。
詳しくは、ホームページに掲載している規程例リーフレットをご覧ください。
また、下記にてご相談を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

まずはご相談を！

◆お問い合わせはこちらまで◆

一般財団法人兵庫県雇用開発協会
〒650-0025 神戸市中央区相生町1-2-1 東成ビル3階
電話 078 (362) 6583 FAX 078 (362) 6613